人を一所懸命に救う心　～間違いじゃない～

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、あなたのおかげで生きてます　ちっぽけな僕だけどやってます
大した話ではないですが　聞いて欲しいのです
まず　ぼくが　つらい時　電話や　FAX で
常に励してくれて　本当に嬉しかった

あの時　実は　どんなに救われたことか
我の CD を買うとか　してくれたりもした
だから　あなたはいつの時も
かけがえのない　人なのです…

別にそんな偉そうなことは　言わないけれど
勇気を持って　人を一生懸命に　救う心
それは絶対に　間違いじゃないと　いつも思う…

2、 あれから時も　経ちまして　１度だけ　食事を一緒にしましたね
調子に乗って　コーヒーショップまで　いろいろ話しましたね

あの日　救急車で運ばれた日には　遠い家から　駆けつけてくれた
あれは　きっと幸せという　優しさを感じました…

今度　晴れた日が来たら　北軽井沢の小さな畑で
ぼんやりと　浅間山を見ながら　野菜を一緒にとりましょう

小さかったお子さん達たちも　皆　元気にやっていますか？
次は何か企画するとか　してあげたいと思っています

いつか、太陽が昇ったら
この「ありがとう」を贈ります…

俺の人間～自分の人生 1 個考えたかった

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、自分の人生１個考えたかった　僕はただの人生馬鹿らしく思った
我にとって命が何だというのか　何が答えで嘘は何か
わからず突っ立ってた　Oh－

あなたの人生１個見つめてたかった　揺れた花は何の為に働くのですか？
草にとって仕事が何だというのか　夢を描いてみたところで
叶えることもしない　Oh－

俺の人間はおいくらですか？　あとどの位、すれば辿り着くのですか？
泣かないでって囁く君が　本当に夢にとっての支えだったから
戦い合うことがすべてですか？　１年６億円で契約できますか？
いくらお金を積んだところで　幸せになればいい

2、 畑の中で育ったどろんこのように　愛は小さな部屋に籠り妄想にふける
巨人軍が勝ってくれればそれでいいのか　買ったばかりの靴は擦れて
外反母趾（がいはんぼし）をつける　oh－

走り出したら行くしかないでしょう？　永久不変に暇なら幸せなのですか？
少なからずの人達と出会って　芸術活動に没頭する
何のために生きるのですか？　誰もが満足できればそれでいいはずで
今　悩みがあるとするなら　次に読む本をどれにするか…
で　幸せになればいい

And LOVE…

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

And LOVE And LOVE And LOVE 悲しみがすり抜けてゆく

And LOVE And LOVE And LOVE　思い出を消さないで

わかっていた　子供のころ　嘘つくたび　抱き合うたび　切なさ多すぎて

知らずにいた　時のなかで　間違えても　成長して　夢だけ叶えたい

「ぼくにはできる」　強がりじゃない　綴る言葉に

　優しさ追いかけて　自分だけを信じて

２人抱き合うことでしか　わかり合えなくて

窓に描いた奇跡など　叶うはずもなかった

分かり合えない時間ほど　さみしい場所はなく

共に描いた奇跡など　叶うはずもなかった

Ah- すべての命よ…　Ah- 流される愛よ…

And LOVE And LOVE And LOVE 悲しみがすり抜けてゆく

And LOVE And LOVE And LOVE　思い出を消さないで

雨よ　降れ

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、Ah－　人は　悲しみと　喜びが　重ね重ね

Ah－　風に　吹かれては　思い出す　あの頃を

あれは　時の中を　思い描いた　頃の

生き描いたことが　全て間違いでも…

雨よ　降れ　いつまでも　この心　全部溶かして

２、Ah－　ぼくは　夢があり　それだけを　ただ叶えたい

歳もとったけど　逆襲が起こるはずさ

僕は　この奇跡を　信じ続けてるから

スタミナが続くまで　泳ぎ続けてたい…

雨よ　降れ　いつまでも　この願い　どしゃぶりの中

今は　まだ　子供のままで　人の群れ　かきわけている

December

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、悪魔とはキャンドルが舞う December　想いとかすべて消えない
サンタクロースが踊り　狂い　回る　この場所で
涙とか溢れ出しちゃって　重い想い全部消えない
感情の波に溺れながら　今日も生きている

覚えてる過去　消えない記憶
愛なんて存在しない　今の僕には

恋は奏でられ友情に変わってゆき　愛情に変わってゆくけど
それは成り行きのもので
夢は選ばれし　英雄に与えられてゆく
かっこいいとか　そういうことじゃなくて
本気で想える人だけ…

２、クリスマス笑うペンダント　欲しいもの全部買いたい
お金持ちの家に生まれてくることは　幸せなの？
芸術に汗流しちゃって　やりたいこと見つけられそう？
いつも案外逃げているようだけれど　間違いさ！

フランス人形　ステンドグラス
本当に面白い　言葉を書きたい

僕は幸せな白馬の王子様じゃない　モテ期は今かと探るけど
それは経験不足で
それじゃ彼女など　いなくてもかまわないから
妻も子供もいらないから
やりたい仕事をやるだけ

君のクリスマスプレゼントは
素敵な歌を作りたい…
楽しい曲を歌いたい…
そして幸せになりたい…

冬眠

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、あまりの寒さに　夜中に目が覚め　見つめた景色は　白銀の世界
生きていることに　驚きはしたが　降る雪を眺め　今　死にたかった

もう　終わりだよ　なにかそんな気がしてた
そう　終わりだよ　きっと　このまま　wow...

さよなら Baby　さよなら Baby　悲しむことが　今のすべてだった
寒さの中で　温かく眠りたいんだ　俺はもうこのまま　死ぬしかない

２、冬山の知識　私は知らない　危なそうなのに　登る人もいる

ああ　終わりだよ　たった一人の僕がいる
いま　終わりだよ　山小屋の中から只...

さよなら Baby　さよなら Baby　生き抜くことが　明日の答えだった
原爆や震災の中　生き延びた人もいるんだ　愛はまだこのまま　くたばらない

さよなら Baby　さよなら Baby　悲しむことが時の合図だった
寒さの中で　温かく眠りたいんだ　優しい思い出に　満たされて

さよなら Baby...　さよなら baby...

遭難５日目　わずかな記憶で　降る雪を見つめ　今、目を瞑った...

東岸２０km

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、着実に人生を真っ直ぐ見つめ　一月　二月　時が経つ
そんなことばかり考えているから　人生が直線とは考えにくい

凄まじいスピードで　走り去った
その声は　全ての伝説を作り上げた

東岸２０km　置いてきぼりの　その声の方へ走ってゆく
涙を流さぬその瞬きには　誰にも知られず答えを出す

２、ひとりぼっちの人生歩き　まだまだまだまだ一人じゃない
俺はとにかく作詞家でもいい　ミュージシャンになりたいと悩みだけを書く

夜の俺では　無理なんだ
明日の朝も絶望しているだろう

たっぷり眠った　昼になったら　根拠もないのに　ツテもないのに
スーパーマンになれるはずだと　思っているから幸せ者だろう

それでもなんでも「音楽」への　夢を叶えると思えている
人生を賭けた挑戦だ　俺はとにかく新しくなる

WHY NOT　～ドラゴンのテーマ～

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、なぜ　こんなことになんだよ　自分の夢が壊れてしまう
今日がまた終わるころに　どこを歩いているのだろう
街の中で

視界に映った　いつもの道　今日に限っては歩けない
言葉はあれ以来　何も喋ってない　WHY NOT WHY NOT

幸せだった頃は　全てが夢に見えて
「幸せだった」ときみは　ぼくを励ますように

立てドラゴン　大空を超え　意味なんて　どうでもいいから
飛び立てぬ　鳥達の群れ　震えながら　死んでしまうのか…

２、生きるって辛いものだね　自分の過去が壊れてしまう
太陽が昇る朝に　僕は眠っているのだろう
人の中で

２人過ごした最後の愛　今となっては戻れない
生きるか　死ぬかの　選択だったから　WHY NOT WHY NOT

幸せだった頃は　涙をよく流し
幸せだったと君は　別れの言葉を告げた

裂けアマゾン　この闇を抜け　理由（わけ）なんて　考えなかった
走り出す　教会の胸　音を鳴らし　時を叫ぶのか…

THE TITANIC

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

船は沈み涙溢れる　わずかに見えた船長の首

声を失いまるで狂ったように　一人の息子の名を叫ぶ

悪戯なのか　神の

想い出なのか　愛の

ぎりぎりなのか そう聞いてんだよ

激しく痛む　心臓押さえながら

激しく揺れる　波を睨んだまま

激しく落ちる　雷の音の中で

気を失いそして　全てを失った

ああ　親も友も恋人も　山も川も谷も岩もその街も

ああ　愛も夢も幻も　この世に生きる生きる生きる生きるものすべてが

死んでゆくのだろう・・・

消えてゆくのだろう・・・

辿りつくのだろう・・・

口唇　～銃声～

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、雨音だけ響いていた　２人の部屋　寂しかった
途切れてゆく会話の中　未来だけが消えていった
想い出せばキリがなくて　意味もなくて　胸が痛む
戻れるなら　戻りたいよ　無邪気だった　あの頃へと

突然　深夜に鳴り響く電話　「今から来て」の言葉に
俺は車を飛ばし　理由（わけ）もわからないまま　君のうちへ
そして　うつむき　「もう会えなくなるの」と呟いた
僕は理由（わけ）など聞かず　ただひとみだけを抱きしめた

重なる最後の口唇　切なく涙が溢れた
傷んだ想いを　ぶちまけるように　「駄目な奴」と言ってくれ…

２、８月には青い空の海でハシャギ　笑いあった
12 月は白い雪の下で２人　抱（いだ）きあった

聴こえる最後の銃声　澱んだ未熟なこの愛
すべてもう　全部を終わらせるように　「駄目な奴」と言ってくれ…
引き金を引いてくれ…
かまわない殺してくれ…

fantasy

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、真っ暗な深夜の病院の中　響いた足音
眠っている　青年の脳裏はまた　あの事故（とき）を思い出す

Oh－　下手すれば　Oh－　僕は死んでしまうけど
Oh－　大丈夫　必ず記憶は甦る

燃え上がれ fantasy　沸き上がれ mystery
思いは　空に溶けてゆくけれど
哀しみの history　刻まないでよ
もう 2 度と　何も　思わないから...

２、真っ白に着飾った看護師が　少年を見つめてる
目を細め　哀（あわ）れむかのように　その場所を後にした...

Oh－どんな美しい　Oh－花も枯れてしまうでしょ
Oh－大丈夫　いつかは味わうことだから

生きてゆく限り　人は死んでゆく
誰かのために　涙　流しても
哀しみの history　刻まれてゆく
この先で君は　どこを歩くのか

今　生きる限り　魂は叫ぶ
すべては　愛の中に消えてゆく
喜びの melody　届けたい for you
いつまでも　ずっと　忘れないから...

ひっそりと咲いた花が泣いてる　心を殺すように

できるなら　こちらへと近づいて　魂をあげるから...

抱きしめたい

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

抱きしめたい

１、夢を見たこの俺は　ミュージシャンになりたいのだ
この心の興奮は　自分しかわからない
もしかして　本当は　自分が狂っているのか
全ての言葉の羅列が　神の啓示にしか見えない

目に映る物全て　通り一篇の世界
グズグズしている　暇などないから

だから　あなたのこと以外　考えられない
愛を盾にして　ずっとこうしていたいわ
だから　あなたはいつだって　仕事　小言で
夜も帰らずに　やりきれない

２、この俺は「言葉」しか　お金に変えられない
外国人に比べて日本人は　こんなに唄が下手なのか
そのボクもそれならば　言葉しか勝負できない
音楽という詩（うた）を書いて　人生を染めたい

俺の人生なんて　まだまだこんなもんじゃない
何かに操られ　自殺しても書きたい

規則正しい生活など　なくなればいいのに
眠くなるまでは　書いて自分を探したい
こんな１Ｋのアパートの　狭い世界だとしても
ワシは書くことを　愛してたい

時計の針は夜の　12 時半を回ってる
書けない苦しみは　「眠れ」のサインだろう

だけど眠れない夜だから　俺はハマりこむ
書かずにいられない　何度も繰り返してる
答えに辿り着く　完璧な歌詞よ
人は生きるため　闘いたい

信じてたい　あきらめない

想い

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、こころ　悲しくて　言葉冷たくて　何かに当ってみたり
サメが笑うとき　心温まる　それは　不思議な世界
激しく　愛に浸ったり　遠くあなたを　想ったり
孤独で夜に　眠れなくなったり
時には　全て　虚しくなる
僕は君を愛してる　たまらなくずっと愛してる
こんな気持ちは初めてなんだよ
こんなに胸が痛むのは

愛という　永遠の人　辿りついた時を
抱きしめて　生きてゆきたいのに
日は流れる　ただ…

２、誰が探してる　永遠の人が　我であれたらいいのに
本当に猫は美しい　顔も心も綺麗で
それを抱きしめることが　できたのなら
何もかも捨てて　生きれるのに
そっと今を信じてる　本気で２人想ってる
そんな辛い目で　見つめないでくれよ
やっぱり胸が痛むから

真実は　ひとつだけで　それはもう消えた

抱きたいのに　止まらないのに　夢は玉手箱…

いつまでも　繰り返している　誘いの想いは

幻滅と　引き換えにして　空を映すから…

飢え死にの恐怖

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、誰かに貢がれて生きることを　俺が狙うしかないとしても

そのことに我は　悪気はない　本当に今は働けないんだ...

そういうような歌も　認めてくれないか

見放されたら　すべて終わる　情けねえが...

Wow　抱きしめている　人の心
飢えて死なないこと　君が守ってくれる人
誰か救ってくれ...

２、将来　不安に思うことを　なんとか逃れたいなら

スタミナをつけ　じっくりでいい　地道に一歩ずつ出るんだ...

働けば体は雄叫びをあげ　人間関係で絶望になる

「石の上にも３年」って言葉　やってみせろ...

Wow　信じている　愛の乳房
いつかみんなのよに　元気になれること
俺は立ち向かうよ！

Wow 感じている　夢の心
誰にも迷惑を　かけずにやれること
できるものならば. . .

ただの髭の男爵

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 カリスマ的　街のグランチェ　心躍る　愛のフルーチェ
普段はただの髭の男爵　燃え上がるこのイメージ

アメリカ中が見つめてる　燃え上がるチェスの攻防戦
期待はしてもいないのに　鍛えてるこのオマージュ

2、 仕掛けられたと夢を見て　飛び起きた朝の前哨戦
しわくちゃの大魔王達が　あざ笑うそのステージ
あなた方は関係者か？　釈迦釈迦ゾンビと釈迦釈迦
いい加減な歌でも結構　これが俺へのレガース

3、 さよなら外国人サンチェス　クリスマスの日に誓った
アイドル達の踊りより　自分のことを優先
さよならマリオとルイージ　メトロポリタンで大爆笑
普段は揺るぎなき王国の　サイボーグだったのに…

真実は１つではない　それが最期のパフューム